

2025 年度 大阪府障がい者スポーツ大会（知的障がい者団体競技） サッカー競技 実施要領

1 競技日程

(ア) 競技日時・組み合わせによる。

(イ) 組み合わせは、主催者で厳正なる抽選を行い決定する。

なお、競技日時及び組み合わせの抽選結果については各競技、11 月下旬までに各チームに通知する。

2 競技規則

令和 7 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、本実施要領の定めるところによる。

3 競技方法

(ア) 試合は、トーナメント方式とし、3 位決定戦は実施しない。

(イ) 試合時間はハーフタイム 10 分間をはさんで、前後半各 20 分間とする。ただし、決勝戦は、ハーフタイム 10 分間をはさんで、前後半各 25 分間とする。

(ウ) 延長戦は行わず、同点の場合はペナルティーキック方式（各チーム 3 人ずつ、決着がつかない場合は 4 人目以降両チーム 1 人ずつサドンデス）にて勝敗を決定する。

(エ) 試合開始前に登録された交代要員のうち、7 名まで交代が認められる。なお、脳震盪による交代ルールは適用しない。

(オ) 試合は、マルチボールシステムで行う。

(カ) チームスタッフは、その都度 1 名が、主催者が設けるテクニカルエリアから戦術的指示を選手に伝えることができる。テクニカルエリアに入る者は、責任ある態度で行動しなければならない。

(キ) 荒天等により主催者が試合中止を決定した場合、主将（又は代理者）の抽選により勝敗を決定する。

※主催者が試合続行は困難と判断した場合の試合中止等の指示には必ず従ってください。

(ク) 各試合の招集時刻は、原則として試合開始 5 分前とする。ただし、ペナルティーキック方式等により、前の試合時間が延長した場合は、試合終了後の 5 分後に招集、試合終了後の 10 分後に試合開始とする。

(ケ) 試合球は、公益財団法人日本サッカー協会検定 5 号球とし、主催者が用意する。ただし、練習球は各チームで用意すること。

(コ) メンバー表は、受付時に各チーム代表者へ配布する。これに記入の上、各試合開始の 30 分前までに大会本部へ提出すること。なお、ベンチに入るメンバーは、原則として、申込書に記入されている者のみとし、直前の変更は認めない。

(サ) 申込内容を変更する場合は、大会当日の 10 日前までに大会事務局へ申し出るものとする。

4 競技服装

(ア) 原則として、正・副 2 組のユニフォームを用意する。その際、フィールドプレーヤーとゴールキーパーの区別ができるユニフォームを着用すること。

(イ) ビブスを着用し出場するチームは、ビブス以外の服装については統一したものを着用する。ビブスは、各チームが用意するものとする。

(ウ) 背番号は原則、1 番から 99 番とする。また、申込み時に登録した背番号と同じ番号をつけること。

(エ) ソックステープ等の色は問わない。

(オ) アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色は問わない。原則、チーム内で同色のものを着用する。

- (カ) 各チームはフィールド上にキャプテンとして識別できるアームバンド（包帯、テーピング可）を着用したキャプテンがいなければならない。

5 組み合わせ等

- (ア) 組み合わせは主催者で厳正な抽選を行い決定する。シードは設けない。
- (イ) 抽選の結果、組み合わせ表の番号の若いチームが、フィールドに向かって右側のベンチとする。

6 その他

- (ア) 第 1 試合出場チームは受付開始時刻に、その他のチームは試合開始時刻 1 時間前までには、会場に到着しているものとする。
- (イ) 表彰式は、競技終了後に競技場で行い、優勝・準優勝チームそれぞれに賞状を授与する。
- (ウ) 監督会議は実施しない。事前の申し入れや協議事項がある場合、文書にて大会事務局に問い合わせること。
- (エ) ベンチ内には、原則として試合中の監督、コーチ及び登録選手以外入場できない。
- (オ) 事故等が発生した場合、主催者で応急処置は行うが、それ以降の責任は一切負わない。参加するチームは必ず傷害保険に加入すること。さらに必要な場合は医師の診断を受けるなど自己責任において健康と安全について十分留意すること。
- (カ) 主催者で記録用の写真を撮影するほか、参加選手・役員の氏名、容姿などが成績と共にマスコミに報道される場合があるので、その点を理解したうえで申し込むこと。また、事務局が入手した、出場選手・役員の個人情報は大会参加調整事務のみに使用し、それ以外の目的では一切使用しない。
- (キ) その他、不測の事態が発生した場合の取り扱いは、主催者において判断する。